



様式1(主な取組)

活動指標名	民間主体による大会開催				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	大会開催	大会開催	—	—	—	—	0.0%	0	大幅遅れ	平成25年度から(公財)沖縄県文化振興会が世界エイサー大会実行委員会の事務局を務めていたが、令和3年度の総会で創作エイサー協議会に世界エイサー大会実行委員会事務局を移管した。
活動指標名	世界エイサー大会の来場者数				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1920人	1500人	—	—	—	—	0.0%			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会等の実施は見送った。実行委員会については、令和3年度の総会で創作エイサー協議会に世界エイサー大会実行委員会事務局を移管した。
活動指標名	関係機関との連絡・調整				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>民間主導の事務局による関係団体及び市町村との連携強化や、過去の事業実施で培ってきたエイサーの交流ネットワークを活用した文化交流が推進できるよう側面支援を行っていく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>世界エイサー大会実行委員会を開催し、公益財団法人沖縄県文化振興会から民間団体への事務局移管を決定した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・世界エイサー大会を平成22年度から平成24年度までの3年間は県主導による実行委員会で実施し、「エイサーを活用した新たなイベントの創出」、「エイサーの魅力を国内外へ発信」、「エイサー団体の相互交流」といった事業目的を一定程度達成した。平成25年度からは民間主導型へ移行し、県として側面的な支援を行っている。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会の開催は見送っている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・民間主導の事務局による関係団体及び市町村との連携強化や、過去の事業実施で培ってきたエイサーの交流ネットワークを活用した文化交流が推進できるよう側面支援を行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・民間主導の事務局による関係団体及び市町村との連携強化や、過去の事業実施で培ってきたエイサーの交流ネットワークを活用した文化交流が推進できるよう側面支援を行っていく。



様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄音楽産業の振興に資する取組への支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	3	3	1	1	1	100.0%	0	順調	音楽イベントへの知事挨拶1件など側面的支援により、県内外や海外へ沖縄音楽の魅力を発信した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽産業を側面的に支援することで、県内外や海外へ沖縄音楽の魅力を発信し沖縄音楽産業の振興に資する取組を行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>知事挨拶文への対応等側面的支援により、県内外や海外へ沖縄音楽の魅力を発信した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 沖縄国際アジア音楽祭を県主導により平成21年度から3年間にわたり事業を実施し、当初の計画通り平成24年度から民間へ運営が移管された。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な音楽イベントにおいては、各業界団体の定めるガイドラインや県が定める感染症対策の対処方針に沿った運営を行うよう要請している。

##### ○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽イベントは中止・延期・規模の縮小を余儀なくされ、また、開催にあたっては感染症対策を徹底の上運営することが求められている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 県内で実施する音楽イベントの主催者から寄せられる事前相談に対し、県の対処方針に則った感染症対策を徹底したうえで開催を行うよう要請する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 引き続き、知事挨拶文依頼への対応等の側面的支援により、県内外や海外へ沖縄音楽の魅力を発信する。
- ・ 県内で開催される音楽イベントの事前相談等に対し、イベント主催者あて、県の対処方針に沿った感染症対策の要請を通じて、音楽産業を支援する。



様式1(主な取組)

活動指標名	外国人観光客に向けた文化観光コンテンツのセールスプロモーション				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	多言語化 の実施	実施	実施	100.0%	61,257	順調	活動概要 沖縄芸能WEB配信事業において、沖縄芸能の映像コンテンツを制作し字幕による多言語化を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 上演機会の多い演目について、広報用映像や多言語字幕等のソフトを作成するなど観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるための取り組みを行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客を対象とした県内公演の情報発信を継続的に行うとともに、外部環境の変化に留意しながら、県内での公演鑑賞を行いやすい環境を整える。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響により、観光客誘客のPR及び舞台公演の実施が難しい状況下にあったため、舞台公演等の自粛期間中において、実演家やテクニカルスタッフを活用し、沖縄の伝統芸能分野における広報用映像や多言語字幕等のソフトを作成した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・引き続き、外国人観光客に向けた沖縄の文化・芸能を活用した観光コンテンツのプロモーションを実施する必要がある。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、舞台公演を企画する主催者等は、感染防止対策が業種毎に策定された「業種別ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県イベント等実施ガイドライン」に基づきイベントを実施する必要がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・外国人観光客を対象とした県内公演の情報発信を継続的に行うとともに、外部環境の変化に留意しながら、県内での公演鑑賞を行いやすい環境を整える必要がある。

・国内外の移動が厳しい中、文化観光の推進に向け、WEBを活用した情報発信が重要である。



### 4 取組の改善案 (Action)

・外国人観光客を対象とした県内公演の情報発信を継続的に行うとともに、外部環境の変化に留意しながら、県内での公演鑑賞を行いやすい環境を整える。

・今後も制作した映像コンテンツを活用した沖縄芸能の魅力を発信し、今後の文化観光の推進に努める。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	文化の発信・交流	施策	① 国内外における文化交流の推進と発信力の強化
			施策の小項目名	○沖縄文化を軸とした国内外との交流・発信
主な取組	沖縄空手の振興			
対応する主な課題	③先人が築き上げた伝統文化である沖縄空手の保存・継承・発展のために、沖縄空手会館を拠点とした国内外への情報発信や空手愛好家の受入体制強化、後継者育成が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容	年度別計画				
	H29	H30	R元	R2	R3
<p>沖縄空手を保存・継承・発展させるため、国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、国内外における沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進を図るとともに、指導者・後継者の育成を図る。</p>	第1回沖縄空手国際大会開催による国内外空手愛好家の来		第1回沖縄空手少年少女世界大会開催による国内外空手愛好家の来訪促進		
	沖縄空手の目指すべき将来像を定めた沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップの策定				第2回沖縄空手世界大会開催準備
	沖縄空手国際セミナー1回				→
	空手の日記念演武祭1回				→
	海外指導者派遣2カ国				→
	沖縄空手会館を中心とした沖縄空手の情報発信、指導者及び後継者の育成				
実施主体	県				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課		【098-866-2232】		ユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組

2 取組の状況 (Do)



様式1(主な取組)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 沖縄県空手振興事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン等に基づき、空手の日記念演武祭の開催や沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を実施した。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	230,536	163,297	125,671	90,138	122,023	一括交付金(ソフト)	OR4年度：沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン等に基づき、第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定をはじめとする各種施策を展開す	
予算事業名 沖縄空手少年少女世界大会開催事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催準備を行った。	
一括交付金(ソフト)	負担	—	—	—	—	4,410	0	一括交付金(ソフト)	OR4年度：—	
予算事業名 沖縄空手世界大会開催事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：—	
一括交付金(ソフト)	負担	—	—	—	—	0	53,614	一括交付金(ソフト)	OR4年度：第2回沖縄空手世界大会を開催する。	

様式1(主な取組)

予算事業名 第1回沖縄空手少年少女世界大会県内予選会開催費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：—
県単等	負担	—	—	—	—	0	1,112	県単等	OR4年度：第1回沖縄空手少年少女世界大会の県内予選会を開催する。
予算事業名 沖縄空手ユネスコ登録推進事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた調査・研究、県民等の気運醸成のためのイベントのほか、関係省庁への要請を実施した。
県単等	直接実施	—	—	61	9,000	8,324	7,741	県単等	OR4年度：沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究及び県民等の気運醸成に向けた取組の実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	R3年度				R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
活動指標名	沖縄空手国際セミナーの開催				R3年度			102,872	やや遅れ	<p>活動概要</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、空手の日記念演武祭は規模を縮小して開催し、また、海外・県外への空手指導者派遣は実施を見合わせた。</p> <p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民等への気運醸成を図る取組として、オンラインシンポジウムを開催した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>空手の日記念演武祭の映像をオンラインで配信することにより、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大する中においても、「空手発祥の地・沖縄」や沖縄空手に関する情報を国内外に発信することで、沖縄空手の保存・継承・発展を図ることができた。</p>
実績値	1回	1回	1回	0回	0回	1回	0.0%			
活動指標名	空手の日記念演武祭の開催				R3年度					
実績値	—	1回	1回	1回	1回	1回	100.0%			
活動指標名	空手指導者の派遣				R3年度					
実績値	4カ国	2カ国	2カ国	0カ国	0回	2カ国	0.0%			
活動指標名	第2回沖縄空手世界大会開催準備				R3年度					
実績値	—	—	—	—	実施	実施	100.0%			
活動指標名	ユネスコ登録に向けた気運醸成を図るシンポジウムの開催				R3年度					
実績値	—	—	—	1回	1回	1回	100.0%			

## 様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和3年度 of 取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"><li>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づき、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ適宜事業内容を見直しつつ、県及び関係者が連携して各種施策を展開することで、「空手発祥の地・沖縄」及び沖縄空手に関する情報を国内外に広く発信し、沖縄空手の普及・発展及び指導者・後継者の育成等を行うことができた。</li></ul>



### 3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップに基づき、空手関係イベントや沖縄空手会館を拠点とした活用事業等を展開した。</li></ul>	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>東京2020オリンピックにおける空手競技開催と県出身選手の活躍により、「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信する絶好の機会が生まれた。</li></ul>
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄の本土復帰50周年の節目にあたる令和4年度は、第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催等を予定しており、世界中に「空手発祥の地・沖縄」を広く周知する絶好の機会となっている。</li><li>沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、20年後の目指すべき将来像を描いた「沖縄空手振興ビジョン」及びその具体的な工程となる同ロードマップの着実な実現に向けて、行政、空手関係者、経済界等がこれまで以上に密に連携する必要がある。</li></ul>	



### 4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"><li>令和4年度に開催を予定する第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会等を本土復帰50周年記念事業に位置づけ、その開催を通じて、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信する。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</li></ul>

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	文化の発信・交流	施策	① 国内外における文化交流の推進と発信力の強化
			施策の小項目名	○沖縄文化を軸とした国内外との交流・発信
主な取組	沖縄空手の振興			
対応する主な課題	③先人が築き上げた伝統文化である沖縄空手の保存・継承・発展のために、沖縄空手会館を拠点とした国内外への情報発信や空手愛好家の受入体制強化、後継者育成が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容	年度別計画				
	H29	H30	R元	R2	R3
<p>沖縄空手を保存・継承・発展させるため、国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、国内外における沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進を図るとともに、指導者・後継者の育成を図る。</p>	第1回沖縄空手国際大会開催による国内外空手愛好家の来		第1回沖縄空手少年少女世界大会開催による国内外空手愛好家の来訪促進		
	沖縄空手の目指すべき将来像を定めた沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップの策定				第2回沖縄空手世界大会開催準備
	沖縄空手国際セミナー1回				→
	空手の日記念演武祭1回				→
	海外指導者派遣2カ国				→
	沖縄空手会館を中心とした沖縄空手の情報発信、指導者及び後継者の育成				
実施主体	県				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課		【098-866-2232】		
		ユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組			

2 取組の状況 (Do)



様式1(主な取組)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 沖縄県空手振興事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン等に基づき、空手の日記念演武祭の開催や沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を実施した。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	230,536	163,297	125,671	90,138	122,023	一括交付金(ソフト)	OR4年度：沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン等に基づき、第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定をはじめとする各種施策を展開す	
予算事業名 沖縄空手少年少女世界大会開催事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催準備を行った。	
一括交付金(ソフト)	負担	—	—	—	—	4,410	0	一括交付金(ソフト)	OR4年度：—	
予算事業名 沖縄空手世界大会開催事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：—	
一括交付金(ソフト)	負担	—	—	—	—	0	53,614	一括交付金(ソフト)	OR4年度：第2回沖縄空手世界大会を開催する。	

様式1(主な取組)

予算事業名 第1回沖縄空手少年少女世界大会県内予選会開催費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：—
県単等	負担	—	—	—	—	0	1,112	県単等	OR4年度：第1回沖縄空手少年少女世界大会の県内予選会を開催する。
予算事業名 沖縄空手ユネスコ登録推進事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた調査・研究、県民等の気運醸成のためのイベントのほか、関係省庁への要請を実施した。
県単等	直接実施	—	—	61	9,000	8,324	7,741	県単等	OR4年度：沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究及び県民等の気運醸成に向けた取組の実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	R3年度				R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
活動指標名	沖縄空手国際セミナーの開催				R3年度			102,872	やや遅れ	<p>活動概要</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、空手の日記念演武祭は規模を縮小して開催し、また、海外・県外への空手指導者派遣は実施を見合わせた。</p> <p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民等への気運醸成を図る取組として、オンラインシンポジウムを開催した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>空手の日記念演武祭の映像をオンラインで配信することにより、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大する中においても、「空手発祥の地・沖縄」や沖縄空手に関する情報を国内外に発信することで、沖縄空手の保存・継承・発展を図ることができた。</p>
実績値	1回	1回	1回	0回	0回	1回	0.0%			
活動指標名	空手の日記念演武祭の開催				R3年度					
実績値	—	1回	1回	1回	1回	1回	100.0%			
活動指標名	空手指導者の派遣				R3年度					
実績値	4カ国	2カ国	2カ国	0カ国	0回	2カ国	0.0%			
活動指標名	第2回沖縄空手世界大会開催準備				R3年度					
実績値	—	—	—	—	実施	実施	100.0%			
活動指標名	ユネスコ登録に向けた気運醸成を図るシンポジウムの開催				R3年度					
実績値	—	—	—	1回	1回	1回	100.0%			

## 様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和3年度 of 取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"><li>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づき、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ適宜事業内容を見直しつつ、県及び関係者が連携して各種施策を展開することで、「空手発祥の地・沖縄」及び沖縄空手に関する情報を国内外に広く発信し、沖縄空手の普及・発展及び指導者・後継者の育成等を行うことができた。</li></ul>



### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップに基づき、空手関係イベントや沖縄空手会館を拠点とした活用事業等を展開した。</li></ul>	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>東京2020オリンピックにおける空手競技開催と県出身選手の活躍により、「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信する絶好の機会が生まれた。</li></ul>
(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄の本土復帰50周年の節目にあたる令和4年度は、第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催等を予定しており、世界中に「空手発祥の地・沖縄」を広く周知する絶好の機会となっている。</li><li>沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、20年後の目指すべき将来像を描いた「沖縄空手振興ビジョン」及びその具体的な工程となる同ロードマップの着実な実現に向けて、行政、空手関係者、経済界等がこれまで以上に密に連携する必要がある。</li></ul>	



### 4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"><li>令和4年度に開催を予定する第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会等を本土復帰50周年記念事業に位置づけ、その開催を通じて、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信する。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</li></ul>



様式1(主な取組)

活動指標名					R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)			
文化発信交流拠点の整備										グローバルな文化の受信・発信機能、プロフェッショナルな芸能の創造・継承機能、専門人材の育成機能を持つ文化発信交流拠点の整備に向けて、都市計画等に関する条件整理や調整を進め、実施計画策定業務に取り組んだ。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  都市計画等に関する条件整理や調整を進め、文化発信交流拠点の整備に向けた実施計画の策定に向けて関係団体と意見交換を行っている。また、民間も含めた県内文化施設の稼働率調査を行い、施設のあり方等について検討しており、着実に取組を推進している。
実績値		実施計画(案)策定着手	実施計画(案)の策定	関係団体との意見交換	関係団体との意見交換	県内施設の稼働率調査	関係団体との意見交換	75.0%	0 概ね順調	
活動指標名					R3年度					
実績値		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
活動指標名					R3年度					
実績値		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
・関係機関との意見交換、施設のあり方等について調整を進め、実施計画の策定に向けて取り組む。	・県内文化施設の稼働率調査を行い、実施計画(案)の見直しに向け検討を行っている。引き続き関係機関との意見交換を行い、その内容を踏まえて施設のあり方等を検討する。



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・施設整備基本計画において施設整備エリアとして決定したエリアは、都市計画決定を受けた都市緑地であることから、都市計画関連の条件整理や調整に時間を要する。

・当該都市緑地の整備の事業主体は浦添市である。

・関係団体との意見交換において、状況の変化に対応した計画の変更等が必要ではとの意見あり。

##### ○外部環境の変化

・平成30年度には琉球新報ホール、令和3年11月には那覇市民芸術劇場なは一とが整備されるなど、那覇市内における劇場機能が強化されている。また、令和4年4月には糸満市にも文化施設が新たに開館し、県内文化施設の稼働率の向上が課題である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、浦添市をはじめとする関係機関と調整を進めるとともに、外部環境の変化も考慮しながら、実施計画の策定に向けて取り組む必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・関係機関との意見交換、施設のあり方等について調整を進め、実施計画の策定に向けて取り組む。



様式1(主な取組)

活動指標名	模造復元品の製作(累計)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	18件	36件	60件	65件	65件	58件	100.0%	64,987	順調	<p>戦災等によって失われた琉球王国の有形無形の文化財の模造復元に取り組んだ。模造復元した資料を活用し、琉球王国の手わざや文化を紹介する展覧会を3回(東京・福岡・久米島)で開催した。また製作者や監修委員による報告会等の開催や事業報告書を刊行した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>平成27年度に作成した実施設計書を基に、平成28年度から琉球王国を代表する8分野(絵画・木彫・漆芸・石彫・染織・陶芸・金工・三線)の模造復元を開始し65件の復元資料が完成するとともに、復元した手わざ(技術)を紹介する展覧会(3回)や報告会の開催(6回)、事業報告書の発刊(6巻)を行った。</p>
活動指標名	展覧会の開催による発信				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	1回	4回	3回	3回	100.0%			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、手わざによって復元した資料を紹介する展覧会等をはじめ、製作工程で得られた知見等を発表する報告会や講演会、ワークショップ等を県内外で開催する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の周知並びに王国文化の理解を深めるために模造復元した資料を活用した展覧会「手わざ」展を東京国立博物館・九州国立博物館・久米島博物館で開催した。また製作工程で得られた知見を発表する報告会やシンポジウムなどを実施した。</li> <li>製作工程や模造復元の拡大写真等を当館の公式サイトで発信し、多くの人が閲覧できるようにした。</li> <li>本事業で復元した手わざや復元資料について調査研究等も含め8分野の報告書を刊行した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・復元資料を展示する「手わざ」展では、模造復元資料を通して琉球王国の文化や復元した手わざ(技術)及びその製作工程を幅広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。

##### ○外部環境の変化

・復帰50年という節目を迎えるにあたり琉球、沖縄独自の歴史や文化への注目が集まり、さらに首里城火災等により文化財保護や復元への興味関心が高まっている。

・新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、展覧会の開催にあたっては県イベント等実施ガイドラインを遵守するなど感染防止対策に万全を期す。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・模造復元資料を活用した展覧会の開催や調査研究及び復元過程で得られた知見をひろく発信するため研究機関や伝統工芸関係者、職人などと連携し効果的な取り組みを行う必要がある。

・琉球王国文化の手わざの復元に向けて継続した調査研究を行う必要がある。

・新型コロナウイルス感染症拡大の社会情勢を受け、観覧者が安心して資料を閲覧する環境づくりに継続して取り組む必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、模造復元資料の展覧会等や製作工程で得られた知見等を発表する報告会等を県内外で開催することに加え、ウェブ配信や広報メディアを活用した効果的な発信を行う。

・琉球王国文化を体系的に理解し効果的に発信するため、県内外に散在する文化財を継続して調査する。